

令和5年度 戸隠公民館運営審議会 会議録

1 日 時 令和5年6月7日（金）午前10時から11時20分まで

2 場 所 戸隠公民館 大会議室

3 出席者 委員6人 事務局2人（館長、係長） 合計8人

4 傍聴人 なし

5 取 材 なし

6 会議事項

- (1) 運営審議会の組織編制について
- (2) 戸隠公民館重点目標について
- (3) 令和4年度戸隠公民館事業実施状況について
- (4) 令和5年度戸隠公民館事業計画等について
- (5) その他

7 議事録（事務局説明を割愛し、質問部分のみ）

(1) 運営審議会の組織編制について

会長と職務代理は、互選により羽場謙一委員を会長に選出し、会長が岡本寛一委員を職務代理に指名

(2) 戸隠公民館重点目標について

特になし

(3) 令和4年度戸隠公民館事業実施状況について

(委員)

南部図書館分室というのはこの図書室のことですか。

(事務局)

はい。戸隠公民館の図書室は南部図書館の分室になっております。

(委員)

南部とはどういう意味ですか。

(事務局)

戸隠の皆さんは市立長野図書館が身近でよくご利用いただくかと思いますが、篠ノ井にも市立南部図書館という図書館があり、ここにくる新刊本は南部図書館から送られてきています。

(委員)

回っている移動図書館も南部図書館だったと思います。長野市になる前にも郡部を回っていたと思います。

(委員)

なるほど、分かりました。

(委員)

三輪公民館も南部図書館でやってらっしゃいますよね。

(事務局)

はい、鬼無里も芋井、小田切も全部南部図書館の分室という位置づけで、南部図書館で所蔵している図書を配本して、皆さまにお借りいただくという形になっています。

(委員)

南部図書館は予算があるのですね。

(事務局)

話は反れますが、南部図書館もかなり老朽化しており、今後図書館自体の建物を見直すという時期にも来ていますけれども、所蔵している図書も戸隠含めて公民館へ配本しております。

(委員)

グループサークルの育成支援ということで、公民館講座から移行したサークルというのがこの5ページうちの半分くらいが占めているのでしょうか。

(事務局)

移行したサークルは、「4公民館使用団体」に記載してあります。このうち実際公民館講座からサークル化したのは、手作りの会、ひだまりの会、なつかしい歌を歌う会です。

過去に比べると、サークルの皆さんも1年ずつお歳をとられて、新規の方が入ってらっしゃらないので活動が厳しくなり2団体ご利用いただいていない団体もあります。

クラフト講座も参加者の皆さんとても精力的なのでサークル化できると良いのですが、代表者と5名以上いけばご利用いただけるようになりますが、代表者になる方がいらっしゃらないのでクラフト講座からのサークル化は実現できていないのが実情です。やられている方たちはたくさんいらっしゃるので、この広い場所を皆さんで使っていただけるといいなと思っておりますが、難しいところです。

(委員)

向かいの体育館は、公民館の所有ですか。

(事務局)

戸隠体育館については、スポーツ課というところで管理しておりますが、目の前に建物がありますので、問い合わせの対応や申込受付、体育館利用の場合の団体登録の手続き等、スポーツ課から依頼されておりますので、公民館でも対応はしておりますが、管理自体はスポーツ課となっております。

(委員)

それなら資料へは載ってこないということですね。

(事務局)

はい、そのとおりです。

(委員)

今までの過去の問題点、何が審議されていたかというのがありますか。参加者が集まらないという問題があるとか、使い方がどうかという今までにどんな意見が出ましたか。

(事務局)

職員側では、参加者を集めるにはどうしたらよいか等の課題は常に講座を企画するにあたって、

考えているところですが、この場で利用者を増やすにはどうしたらいいかという話はあまり無かったと思われます。もしそのようなご意見をいただけるようであれば有難いと思っておりますので、何かご提案あればお願いします。

参考までにコロナ前、令和元年度の延べ利用者数は3,400人ちょっとありました。それ以降、コロナの関係で人数制限等もありますが、先程触れたストレッチ講座に関しては、令和2年度までは公民館のみで実施しておりました。令和3年度からは新規参加者取り込むため、豊岡地区の方たちにも参加いただけないかということで、年間40回あるうちの半分程度は会場を移して実施しております。戸隠地区の皆さんの健康を考えると両方で開催が良いかと職員間での話し合いをした経過もあり、公民館利用者が減少することは覚悟のうえでしたが、サークル自体もコロナにより自粛されたり、冬の間は年齢とともに運転が大変ということで活動をお休みするということも増えているので、数字の伸びにつながっていないと感じております。

何かご意見いただけると有難いです。

(委員)

講座の広報というのはどんな手段を使ってらっしゃいますか。よく9時くらいに放送で流れているのは記憶ありますけど。

(事務局)

INCの放送はもちろんですが、テレビでの文字放送でも流れるようお願いしているのと、年度末に1回年間のチラシをお配りしておりましたが、令和4年度からは毎月翌月の講座のお知らせは地区内の回覧でも回しております。こちらはご覧いただいている方がいらっちゃって昨年度もチラシについては有難いということでこの場でもお話をいただいています。

一部地区外の方のためにということでホームページにも掲載をさせていただいています。

(委員)

はい。ありがとうございます。

(4) 令和5年度戸隠公民館事業計画等について

(委員)

「野山の植物散策」は昨年度もやられていますが、市街地からの方が多いでしょか。地元の方が多いですかね。

(事務局)

昨年度も今年度も地元の方が多いです。地元の方でも植物に興味がある方が多く、その辺りに生えている草花について「これは何という植物ですか。」と質問して教えてもらえる機会がないというのもあり、皆さん楽しみにしていただいています。先日も実施しましたが、前日大雨で実施できるかどうか心配しましたが当日とてもいい天気になり無事実施でき、皆さん喜んで参加していただきました。今回足元が良くないコースだったので変更し、カエデが中心の講座でしたが普段聞けない話を聞いて喜んで帰られました。

(委員)

テレビの影響はありますか。牧野さんの影響とか。

(事務局)

そういったことも若干はあるかと思えます。それも意識した中で考えております。

(委員)

自分が小学校の頃読んだ牧野さんを思い出してきたようなところがあるので、行きたいと思

いますが、火曜日なものでそういったところがちょっと。

(委員)

今年度は別の予定と重なって参加できなかったですが、この周りを回って、ハルジオンとヒメジオンの違いとか、普段見ている草ですが名前も知らないような草の名前や特徴とか外来種とか色々教えていただいととても参考になりましたけど忘れてしまいました。

(委員)

できれば全部知りたいと思いますよね。

(委員)

とても普段見ている草花を教えただいて良かったです。

(委員)

昆虫とか、オニヤンマがいないだとかチョウチョがいないだとか、セミがいなくなってしまったものもいるので、もしそういったものもやっていただけるといいなと思います。大きくておいしいドジョウもとれなくなって。昔はいっぱいとれたんですけどね。生態系も誰かやってもらえると有難いです。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。

(委員)

今年度講座は増えないですね。

(事務局)

今年度は予算の関係もありますが、時期と計画が間に合うかどうかというところですが、現段階では全く増えないとも言切れないところもあります。昨年度もスマホ教室のステップアップの方は後から依頼があって実施した講座もあるので全く変更がないとも言えません。もし今年度中に開催してほしいというご要望があればお願いします。

(委員)

今さら聞けないパソコン教室とか、45歳から50歳代位で誰か教えてくれないかなという方がいたので。

(事務局)

公民館にパソコンはないのでお持ちいただくことが前提になるかと思います。スマホ教室のようにパソコンに触れていただくところからできるといいのですが、また検討していきたいと思えます。ありがとうございます。

(委員)

柔軟に対応していただければと思います。

(事務局)

はい。あとは講師をどうするかと、謝礼がかかるかというところで検討していきたいと思えます。

(委員)

今後の事だと思いますが、中学校の部活動が地域移行するということです。国の施策としても決まっていることで、今まで私たちが経験してきた部活動が地域の方と一緒にやっていくということで、運動部、また特に文科系の中学生の活動を例えば公民館の色々な講座のクラフトとか音楽とかいうところで。そうすると今中学校のカリキュラムも変えていかないといけないということで、今試行段階ですが火曜日と木曜日は早く子どもたちを午後に部活動をできるように、授業

をコンパクトにして放課後の時間を長くして、その時間に課外活動をする形で、例えば火曜日とか木曜日に講座があるようなところに中学生が参加することができるというのが将来的には考えていくのはどうでしょうか。

(事務局)

昨年度、そういった会議に公民館も参加させていただきましたが、時間帯の擦り合わせが一番大変かと思いましたが、文科系がなかなか難しいという話があり、サークルの皆さんのご協力を含めて考えていければと思っています。

(委員)

スケジュール的には市から令和7年度夏の中体連の大会で全体的に変えよう、それぞれの中学校から地域の方に完了、部活動全てというようなスケジュールを考えているので、それに向けて、戸隠として、戸隠ならではの取り組みみたいなものを考えていかないといけないかなと思っています。またよろしくをお願いします。

(事務局)

こちらこそ、よろしくをお願いします。

(委員)

令和5年度、6年度辺りで何か試行的にやっていければいいですね。

(委員)

令和5年度で考えて、令和6年度で試行、具体的にしていきながら、令和7年度を迎える感じでできればと思っています。

(委員)

若い子が入れば、活気が出ていいですね。

(事務局)

戸隠地区のご年配の方たちもとてもパワフルな方たちがたくさんいらっしゃいますので、若い中学生の皆さんにも刺激になるとと思っています。

(委員)

どちらにとってもウィンウィンの関係になるといいと思います。

(事務局)

はい。また連携をとっていきたいと思います。

(委員)

個人的にやりたいこと、体験したいことを言うと、書道教室やっていたら来たいと思います。書道や茶道、陶芸とかもし気軽にできるならやってみたいというのがありまして、なかなか大変かもしれませんが。

(事務局)

書道という程ではありませんが、職員間のアイデアの中で、年賀状のあて名書きを筆でやるのはどうかとか、色々なアイデアが出ていたこともありましたが、コロナや色々なことで縮みや制限がかかってきてしまい、無くなってしまったアイデアもありますが、改めてお話お聞きしましたので、話し合いながら考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

(委員)

専門分野みたいになってしまいますが、地域内の文化財めぐりとかやられていますか。

(事務局)

「歴史探訪」という講座で各地区15地区を年間何回かに分けて、文化財を巡ったかどうかは

はっきり申し上げられませんが、各地区を巡ったという経過はありました。新たに参加者がいればもう1回同じような形で、今度は文化財を中心に回ることも可能かと思います。過去に実施した際、講師の選定が大変だったそうで、地区内でご対応いただける方がいらっしゃると思うのですが、全地区ご対応いただけるかというとなかなか難しかったという話も聞いているので、そういったところも調整しながら考えていければと思います。

(委員)

文化財というとなついで建物というイメージになってしまいますが、記念物でいうと天然記念物とか埋蔵文化財含めなかなか普段触れる機会がなく、建物は観光で行っても見られますが、例えば戸隠でいうと奥社の参道は県指定の天然記念物になっていますが、奥社の参道は戸隠に住んでいると10年に1回行くか行かないかですよ。あそこの石垣とかを見ながら歩くとすごく面白いですけど、それを解説できる人がなかなか少ないのと。今回奥社の社叢の保存活用計画が策定されたので、その有識者がいると思います。岩窟観音も然り、指定文化財の美術工芸品だとか記念物だとか色々あたっていくと本当面白いところがたくさんあると思っていますが、自分では回っておりません。

(事務局)

冬にチャージという講座の中で、戸隠地区内の文化財の話は講義形式でやったことはありますが、現地に行ってみるとするのはまた別なので、実際歩いてということも考えていければと思います。

(委員)

以前は、ウォーキングで奥社とか岩窟観音とかあちこち回りました。その時歩きながら色々な説明を聞きました。

(委員)

それいいですよ。私も行ってみたいです。あと流失してしまった戸隠地区から外へ出て行ってしまった文化財というのも結構ありますが、そこまで外へ出るかどうかということもありますけど。

(事務局)

これから募集をかけますが、「地区外めぐり」という講座の中で、千曲市と長野市内のお寺2つに流失した仏様があるということでそちらを回ってみようという企画を進めているところです。流失物がたくさんあると地質化石博物館の田辺先生にもお聞きしておりますので、まず始めてみるという段階で今進めております。

(委員)

古文書をみるというのもいいですよ。

(委員)

いいですね。読める方いらっしゃいますからね。戸隠神社にお勤めの方ですが、古いものが出てくると読めないものは全部頼んで読んでもらっています。それは面白いですね。

(委員)

ある方のお宅の土蔵の中から昔の古文書が出てきたという話を聞きましたが、読めるようになれば家にもあるけれども、こんなことがあるのかと予想ができるくらいでも勉強をした価値はあると思います。

(委員)

今まだその方の古文書を市でまだ預かっているのでしょうか。運び出して化石館かどこかに来

ていると思います。

(事務局)

わかりません。

(委員)

その方の土蔵は空っぽですか。

(委員)

個人的な話ですが、土蔵が傷んでいるので中を出したという状態ですね。

(委員)

前の戸隠支所長ならわかるかもしれませんね。

(委員)

そうですね。

「戸隠を知る会」という会があり、そこで今話題なのが、戸隠の院坊が今中社、宝光社に 36～37 件の宿坊がありますが、失われている坊がたくさんありその敷地がこの辺ではないかとやっている人がいて、そういうのも面白いですよ。

神社の配置を見ていると、風水の北に玄武南に朱雀という関係で、都市計画を進めた中社宝光社のまちをつくっていく過程というのは本当に面白いですね。全然話が違いまして失礼しました。

(事務局)

ありがとうございます。公民館の課題の中には、男性の参加者を増やしたいという思いもあるので、男性の皆さんの興味のあることをお聞きできるのは貴重だと思い、お話を聞かせていただきました。ありがとうございます。

(委員)

ほとんど女性の皆さんですね。

(事務局)

はい。男性の皆さんも平日お仕事の方が多いかと思いますが、土日に企画している講座や行事もありますので、足を運んでいただければと思います。よろしく願います。

(委員)

では、今年度はこれでやっていただき、途中で何かあればまた企画していただくということでよろしいでしょうか。

(委員全員)

はい。

(事務局)

ありがとうございました。

(5) その他

特に意見等なし